

平成20年度 当初予算

活力あるまちづくりに向け、
主要施策へ重点配分

平成20年度南越前町当初予算が3月議会定例会で審議され
決まりました。

平成20年度の当初予算は、平成19年度当初予算と比較すると、大型の普通建設事業の完了などで、一般会計は2億2、510万5千円減（△2.8%）の、77億5、901万6千円と2年連続での減額予算となりました。

平成20年度南越前町予算

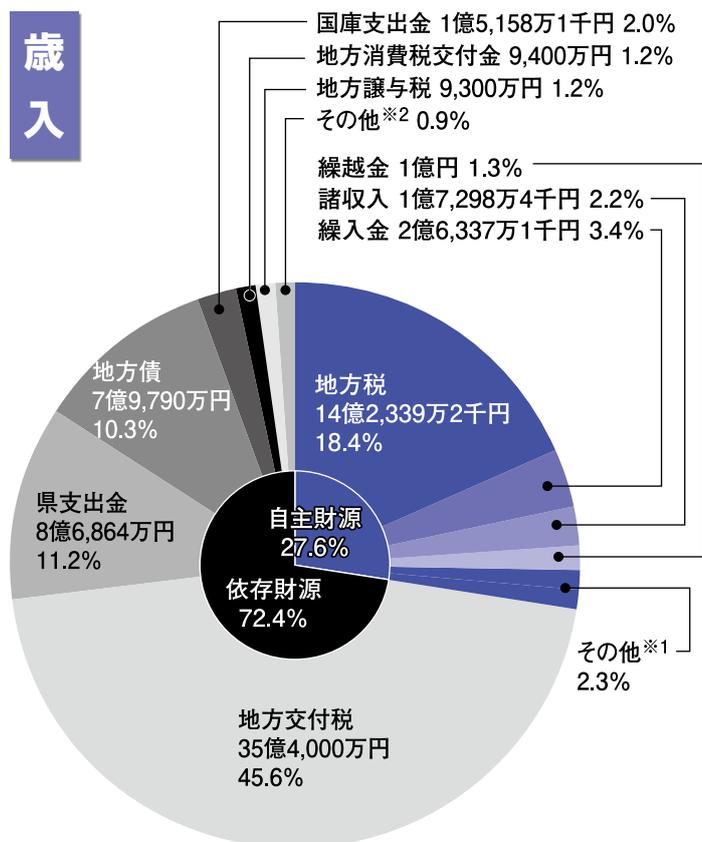
120億 8,892万 5千円

一般会計 77億 5,901万 6千円
特別会計 41億 3,190万 5千円
企業会計 1億 9,800万 4千円

平成19年度から本格的に取り組んでいる財政改革を引き続

き実施する形での編成となり、合併当初の普通建設事業の完了に伴い、全国類似団体の予算規模になり、今後も毎年度同水準で推移していく予定です。なお、緊縮・儉約型の予算ではありませんが、福祉・教育、産業の振興、生活環境、道路交通網の整備、防災関係などの住民生活に不可欠となる各分野には重点的に予算を配分し、メリハリのある編成となっています。

歳入



※1 自主財源その他の内訳：

分担金及び負担金 9,199万4千円 1.2%、使用料及び手数料 4,964万6千円 0.6%、財産収入 4,120万8千円 0.5%

※2 依存財源その他内訳：

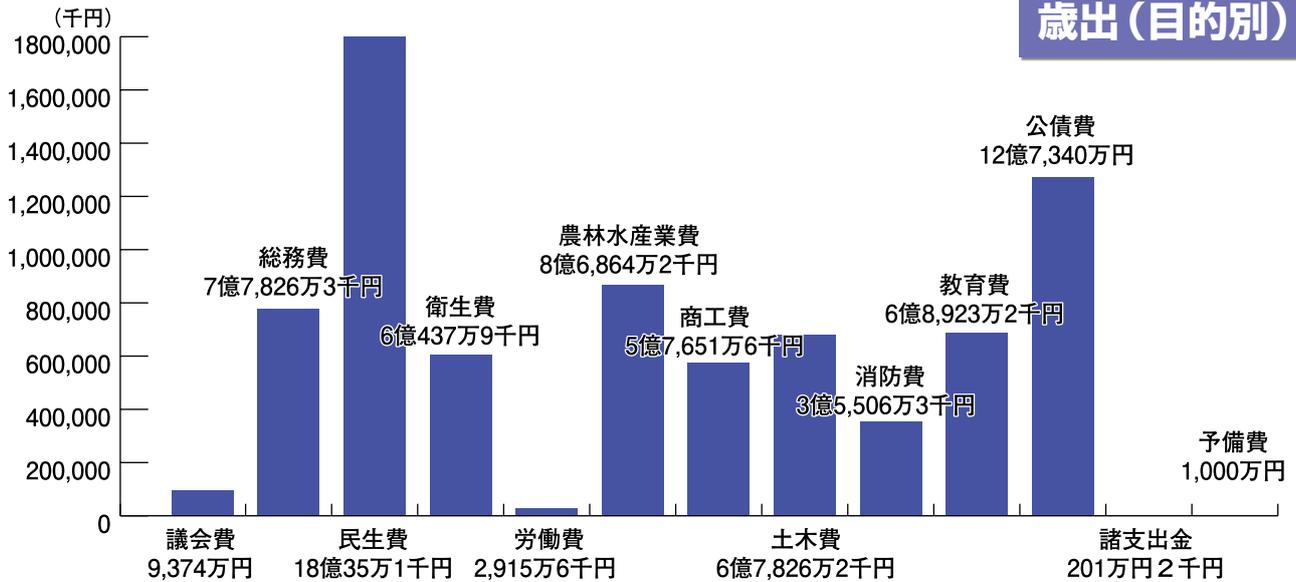
自動車取得税交付金 4,500万円 0.6%、利子割交付金 800万円 0.1%、地方特例交付金 730万円 0.1%、配当割交付金 700万円 0.1%、株式等譲渡所得割交付金 200万円、交通安全対策特別交付金 200万円

自主財源は、町税が所得税の税源移譲で、14億2,339万2千円（前年度比8.6%の増額）となりましたが、これに伴い、各譲与税等は減少しています。財源不足を補うために行われる財政調整基金などからの繰入金は、財政改革による経常経費の抑制から、2億6,337万1千円（前年度比23.5%の減額）となっています。諸収入は1億7,298万4千円（前年度比1.3%の増額）、分担金及び負担金は9,199万4千円（前年度比16.1%の減額）であり、これらの自主財源は、全体の27.6%となっています。

依存財源は、普通交付税は公債費の増により若干増加していますが、特別交付税で合併特例加算の減により、全体では35億4,000万円（前年度比0.6%の増額）となっています。国庫支出金・地方債については、普通建設事業の圧縮によりそれぞれ減少しています。地方譲与税は9,300万円（前年度比4.1%の減額）となりました。これらの依存財源は、全体の72.4%となっています。

グラフでもわかるように、本町予算はその7割以上を地方交付税や国庫支出金、地方債などの依存財源で賄っており、自主的に財源を確保する力が弱いので、今後も行政コストの抑制に取り組んでいかなければなりません。

歳出(目的別)



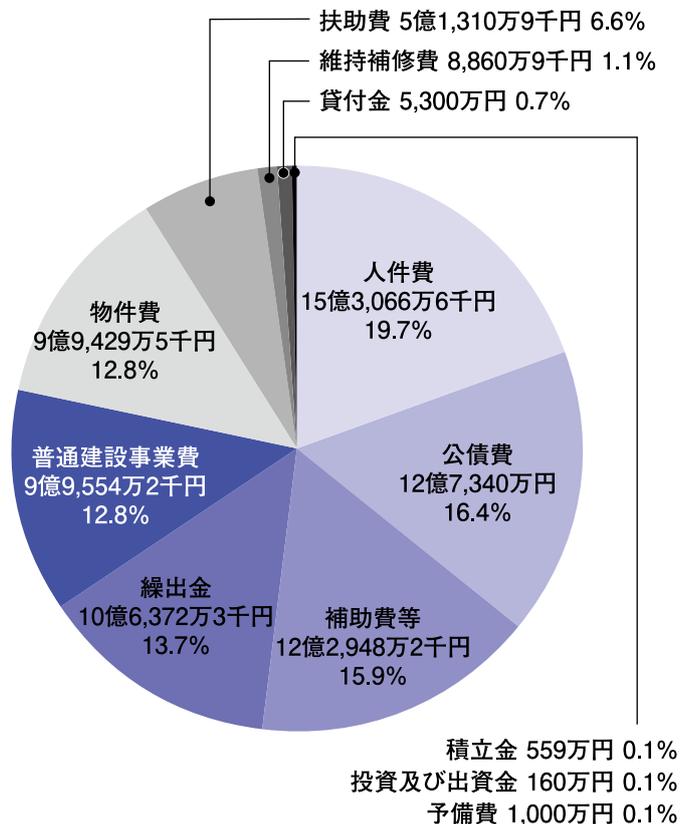
歳出予算を目的別に見ると、全体的に減少するなか、民生費は今庄地区認定子ども園整備事業の実施により、対前年度を10.4%上回っています。また、商工費は、新しくダイビングパーク管理経費を計上したことにより、前年度を27.3%上回っています。教育費は、今庄小学校移転改築事業の終了に伴い、前年度から30.1%マイナス、土木費はダイビングパーク関連経費を商工費に計上したことにより26.3%のマイナスとなっています。

平成20年度当初予算は、教育行政に係るハード事業が概ね終了したことや、後期高齢者医療制度の開始などもあり、特に福祉医療分野に重点配分を行った予算となりました。

歳出予算をその性質別に見ると、職員給与や議員報酬などの人件費は、職員の退職などにより前年比△4.6%、使用料や備品購入費などの物件費は前年比△10.6%、維持補修費は前年比△36.7%とそれぞれ減少しています。普通建設事業は、今庄小学校移転改築事業など大型事業の終了により、前年比△16.7%と合併後初めて10億円を下回りました。補助費等は、水道事業会計創設に伴う負担金等の増加により前年比31%増、公債費は合併後発行した町債の元金償還が始まることにより前年比6%増と、今後も数年は増加傾向にあります。

南越前町の財政は、毎年経常に収入される額（地方税や地方交付税など）のほとんどが、経常的に使われる経費（人件費や扶助費、公債費など）に充当され、財政的に余裕がない状態です。加えて、財源不足を補う財政調整基金・減債基金（貯金）の残高は類似団体より低く、地方債（借金）の残高は類似団体の2倍を超える状況です。今後も、合併効果を最大限に引き出し、無駄のない財政運営に取り組んでいく必要があります。

歳出(性質別)



予算の主な事業

みんなが生きいきと働ける まちづくり

ダイビングパーク整備事業	2億94万円
林道榎谷線開設事業	5,793万円
林道北谷線改良事業	4,000万円
中山間地域総合整備事業	2,542万円
勤労者生活安定資金預託金	2,500万円
温泉施設入場料補助	1,842万円
明日の地域農業を支える担い手条件整備事業補助金	1,702万円
森林整備地域活動支援交付金	1,469万円
農地・水・環境保全向上活動支援事業補助金	1,003万円
林道塚線改良事業	1,000万円
林道越前南部線舗装事業	1,000万円
林道小豆谷線開設事業	1,000万円
林道越前南部線舗装事業	1,000万円
河野夏まつり開催	1,264万円
今庄そばまつり開催	1,086万円
集落振興補助金	900万円
はすまつり開催	806万円
地域農業サポート事業補助金	280万円



▲ダイビングパーク整備予定地（プール・駐車場）

▼林道北谷線



▲林道榎谷線

みんなで人と文化を育む まちづくり

小中学校等管理運営	1億5,316万円
学校給食サービス費	1億2,192万円
南条中学校耐震大規模改造設計	1,105万円



▲南条中学校耐震大規模改造設計

みんなが考え、みんなで 取り組むまちづくり

まちづくり交付金	1,425万円
集落自治振興交付金	892万円
情報公開・個人情報保護審査会	8万円

特別会計・企業会計

南越前町には14の特別会計と1つの企業会計があり、特定の事業について独立した予算で事業を行います。今年度から新たに後期高齢者医療特別会計と南条地区の簡易水道事業を統廃合して水道事業会計を新設しました。

特別会計合計 **41億3千190万5千円**

() は対前年増減額

<p>国民健康保険 10億4,412万3千円 (△7,757万3千円) 南越前町国民健康保険に加入している人の医療費の給付などを行う会計</p>	<p>後期高齢者医療 1億5,639万6千円 (新規) 75歳(一定の障害のある人は65歳)以上の方の保険料などの事務を行う会計</p>
<p>国民健康保険 今庄診療所 2億9,209万7千円 (△3,710万8千円) 今庄診療所を運営する会計</p>	<p>農業集落排水 4億9,196万7千円 (1,994万1千円) 町内13カ所の農業集落排水施設を維持管理、運営する会計</p>
<p>河野診療所 9,171万8千円 (△669万6千円) 河野診療所を運営する会計</p>	<p>老人保健施設 1億6,379万2千円 (△1,009万円) 老人保健施設を運営する会計</p>
<p>簡易水道 1億6,827万円 (△3億2,824万円) 町内8カ所の簡易水道施設と2カ所の飲料水供給施設を維持管理、運営する会計</p>	<p>介護保険 11億3,240万2千円 (△149万8千円) 介護が必要なお年寄りなどにサービスを行う会計</p>
<p>個別排水処理施設 1,066万4千円 (△196万6千円) 個別合併浄化槽を維持管理運営する会計</p>	<p>ケーブルテレビ 1億1,184万2千円 (814万2千円) ケーブルテレビ施設の維持管理、運営する会計</p>
<p>農業者労働災害共済 621万円(△2千円) 町内で農作業中に災害を受けた人を救済する会計</p>	<p>下水道 3億1,028万8千円 (△200万1千円) 町内2カ所の下水道施設を維持管理運営する会計</p>
<p>老人保健 1億4,850万4千円 (△15億889万9千円) 75歳(一定の障害のある人は65歳)以上の方の医療費の給付などを行う会計</p>	<p>代継基金運用 363万2千円 (17万5千円) 南条地区の青少年及び青年団体の育成を行う会計</p>

企業会計合計 **1億9千800万4千円**

<p>水道事業 1億9,800万4千円(新規) 南条地区簡易水道事業(5施設)の統廃合により上水道事業として新たに設置した施設を維持管理、運営する会計</p>
--

平成20年度

みんなで助け合う優しいまちづくり

高齢者福祉施策費	5億1,748万円
保育所運営経費	4億1,985万円
障害者福祉施策費	2億1,859万円
認定こども園整備事業	2億6,000万円
児童手当	9,102万円
子育て支援金	1,750万円
後期高齢者検診事業	186万円

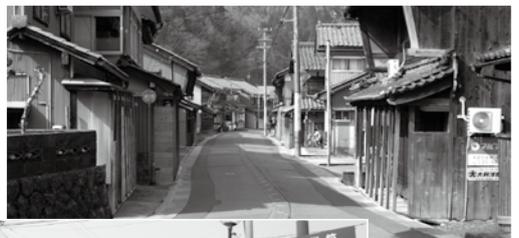


▲認定こども園整備予定地

みんなが安心して暮らせる快適なまちづくり

町道今庄中央線等消雪施設整備事業	8,983万円
町道小中学校通学線消雪設備整備事業	4,840万円
町道河野大良線改良事業	1,000万円
湯尾社谷線歩道整備事業	1,000万円

▼町道今庄中央線等消雪施設整備予定地

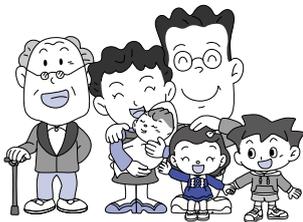


▲町道小中学校通学線消雪設備整備予定地

わが町の家計簿 ～町の財政を家計に例えると～

南越前家

平成 17 年 1 月に結婚(合併)した南越前家は祖父、夫婦、子供 3 人の 6 人家族です。



町の財政はケタが大きく、実感がわきにくいものです。そこで南越前町の予算を家庭の家計簿にあてはめてみます。家庭の家計と、町の財政では、お金の使い道も規模も違うので、単純に比べられないところがありますが、南越前町の平成 20 年度一般会計の予算約 77 億 5 千 901 万円を平成 20 年 3 月現在の人口 12,276 人で割った金額に 6 人分をかけて標準的な規模で算出しました。

※ 77 億 5 千 901 万円 ÷ 12,276 人 × 6 人家族 ÷ 379 万円

収入		支出	
給料等収入 (町税、地方交付税など)	262 万円	食費(人件費)	75 万円
児童手当、乳幼児医療費等 (国庫支出金、県支出金)	50 万円	高熱水費や家事用具の購入(物件費)	48 万円
預貯金利息等(財産収入)	2 万円	修繕代(維持補修費)	4 万円
預貯金の取崩し(繰入金)	13 万円	保育料や医療費(扶助費)	25 万円
冠婚葬祭関係収入 (諸収入、繰越金)	13 万円	区費(補助費等)	60 万円
ローン(町債)	39 万円	家電製品などの購入(普通建設事業)	49 万円
合計	379 万円	ローンの返済(公債費)	62 万円
預貯金残高 (財政調整基金、減債基金)	53 万円	貯金(積立金)	1 万円
		貸したお金(貸付金)	3 万円
		子どもへの仕送り(繰出金)	52 万円
		合計	379 万円
		借金の残高	532 万円

結婚後 4 年目となる南越前家が平成 20 年度ごとのように家計をやりくりしていくのか覗いてみます。

収入

毎年、経常的に係る経費は大きく変わりませんが、給料など(町税・普通交付税など)は、長引く景気の低迷(国の財政状況が依然厳しい)により、増加していくことは見込めない状態です。家計が苦しくなれば少ない貯金を取り崩して(財政調整基金・減債基金からの繰入)やりくりしていかざるを得ません。また、今年子どものためにパソコンを購入したり、古くなった家電製品を入れ替えることを考えているので(普通建設事業)、ローン(町債)を組んでこれらの経費に充てていかなければなりません。

支出

結婚時(合併時)は、臨時的に多くの経費が発生しましたが、年が経つにつれ、生活も落ち着き、また、無駄をなくして節約に努めてきているので、食費(人件費)や家の光熱水費など(物件費)は少なく抑えても、生活できる見通しになってきました。(減少傾向にある。)しかし、おじいちゃんの加齢(高齢化の進展)により医療費(扶助費)は増える傾向にあります。また、区で管理する水道設備が新たにできた(水道事業会計創設)ことにより、区費(補助費等…水道事業会計負担金・補助金)が増えることになりました。

一方、結婚当初に、家の増改築や車の購入など臨時的出費(大型の普通建設事業)があったため、この経費に充てるローン(町債)を組みましたが、今後ローンの返済(公債費)が増えていくことを考えると、これからは古くなった家電製品の入替(普通建設事業)など必要最小限の範囲で抑え、南越前家全体の家計と併せて節約に努めていかなければなりません。また、子どもへの仕送り(繰出金)については、バイトなどで収入を得るようになってきているので、去年よりは少なくなると見られます。